

平成 28 年 4 月 吉日

2016 JABEE 審査講習会のご案内

(主催 化学分野 JABEE 委員会)

112-0006 東京都文京区小日向 4 丁目 6-19

公益社団法人化学工学会内

化学分野 JABEE 委員会 幹事一同

一般社団法人日本技術者教育認定機構 (JABEE) は、国際的に通用する技術者の育成を目的として 1999 年に設立されました。技術者教育の分野では国際的な同等性を確保することが重要な課題であり続けています。そのため JABEE は技術者教育認定のエンジニアリング分野の国際的枠組みであるワシントン協定に 2005 年に加盟し (加盟は一国一団体のみ)、この協定の考え方に準拠した基準で審査と認定を行っています。すなわち、学生個人の資格認定や教育機関の認証評価ではなく、内容と水準が国際的に通用する技術者の教育として適切かどうかの視点から、関連する学協会と連携して、教育プログラムを審査・認定しています。JABEE 認定プログラム修了生は、技術士の 1 次試験免除が改正技術士法で認められておりますが、さらに、US の PE 受験資格が得られる環境整備も整いつつあります。

2001 年度に認定を開始してから認定プログラムの総数は 173 教育機関の 494 プログラム、認定プログラムの修了生累計は約 24 万人に達しています。また、現在までにワシントン協定加盟継続のための視察・審査を受け、そこでの指摘に従い、設立時に定めた認定・審査の基準も変化しております。さらに、審査を受ける教育機関側の負担減少を目指した改善も進めてきております。今回の審査講習会では、JABEE が審査講習会に定める基準に準拠しつつも、JABEE 審査の何が変わり、何が変わっていないか、また認定のための受審を計画されていらっしゃる教育機関の皆さまに対しては、何が簡略化されて受審しやすくなったかなどの情報をお伝えし、受審準備にも対応できる講習会とする所存です。

また一方、JABEE の規定では、審査チームには、審査講習会を受講された方のみがオブザーバーとして参加できます。そして、オブザーバー経験を有した方のみが審査員候補者となります。実際の審査は、それぞれの受審機関で行われている、国際通用性を目指し創意工夫にあふれた教育プログラムとプラクティスを知るよい機会ともなっています。JABEE 設立の時点では、プログラム運営組織と審査チームが協力し、ともに教育改革を進めるという姿勢が前面にあった審査が多数でありましたが、近年は、審査チームが教えられることも非常に多い審査実態となっております。従って、審査に加わることが、ご自身が関係する教育プログラムの向上の一助になるとも言えます。

このように、JABEE そのものが成熟し進化しています。そのような現在の技術者教育認定の理念と仕組みに基づいて、次の要領で化学分野 JABEE 委員会主催の審査講習会を開催いたします。JABEE 活動にご理解を賜り、また実際の審査へのご参加を考えていただくことを願い、ここに多くの方のご参集を募るものでございます。